

8 - 6 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測 Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

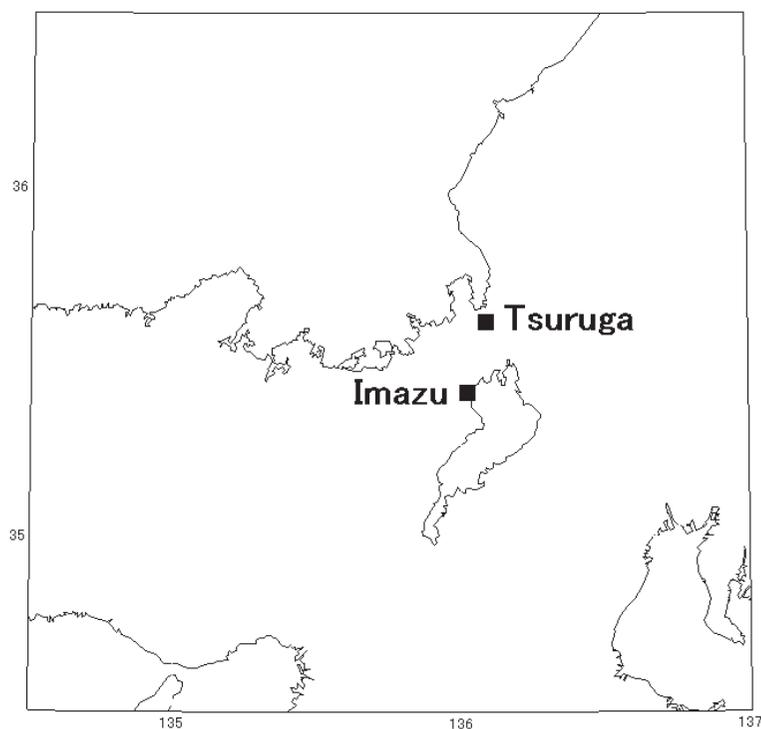
気象庁 気象研究所
Meteorological Research Institute, JMA

気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、近畿地方の今津（滋賀県高島市、 $35^{\circ} 25' 18''$ N, $136^{\circ} 00' 52''$ E）および敦賀（福井県敦賀市 $35^{\circ} 37' 04''$ N, $136^{\circ} 04' 12''$ E）に石井式三成分歪計、傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し（第1図）、1996年5月より連続観測を行っている。

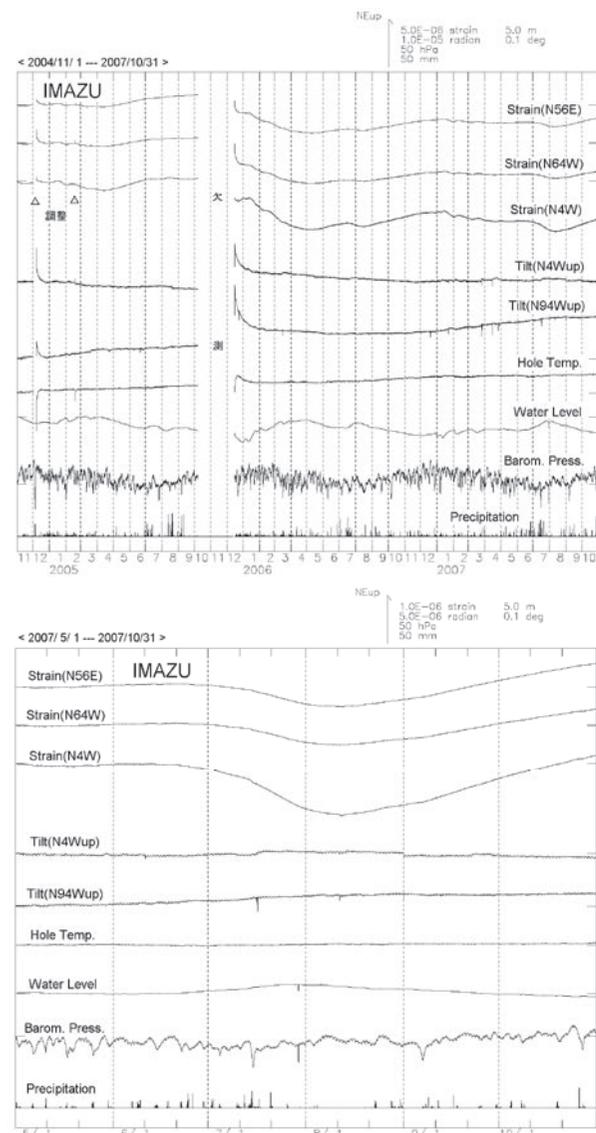
第2, 3図に今津・敦賀観測点の2004年11月1日～2007年10月31日の3年間、および2007年5月1日～10月31日の6ヶ月間の観測データ（時間値）をそれぞれ示す。

参 考 文 献

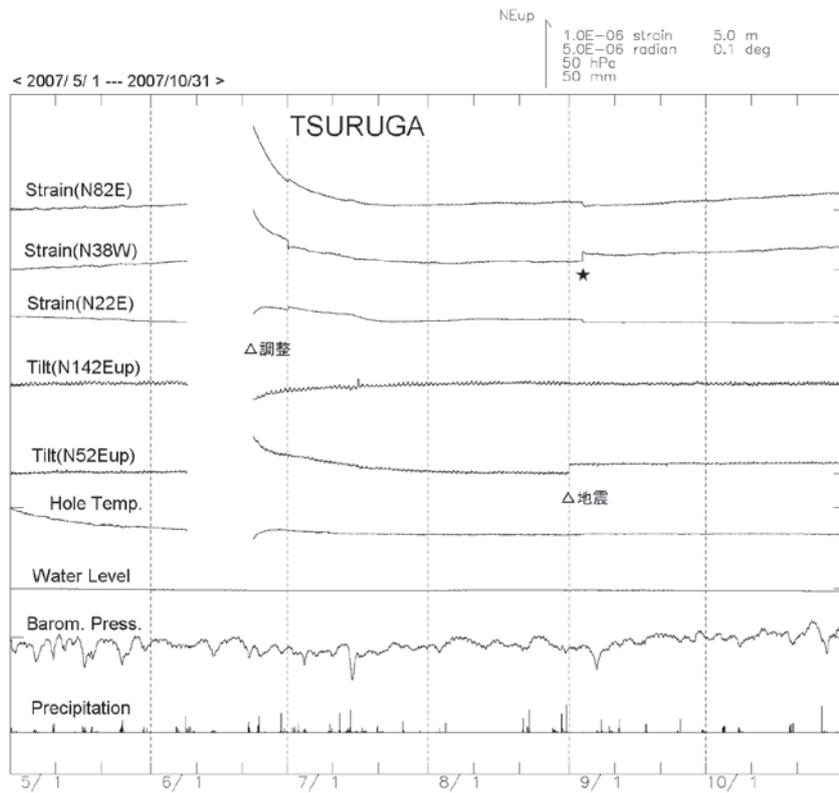
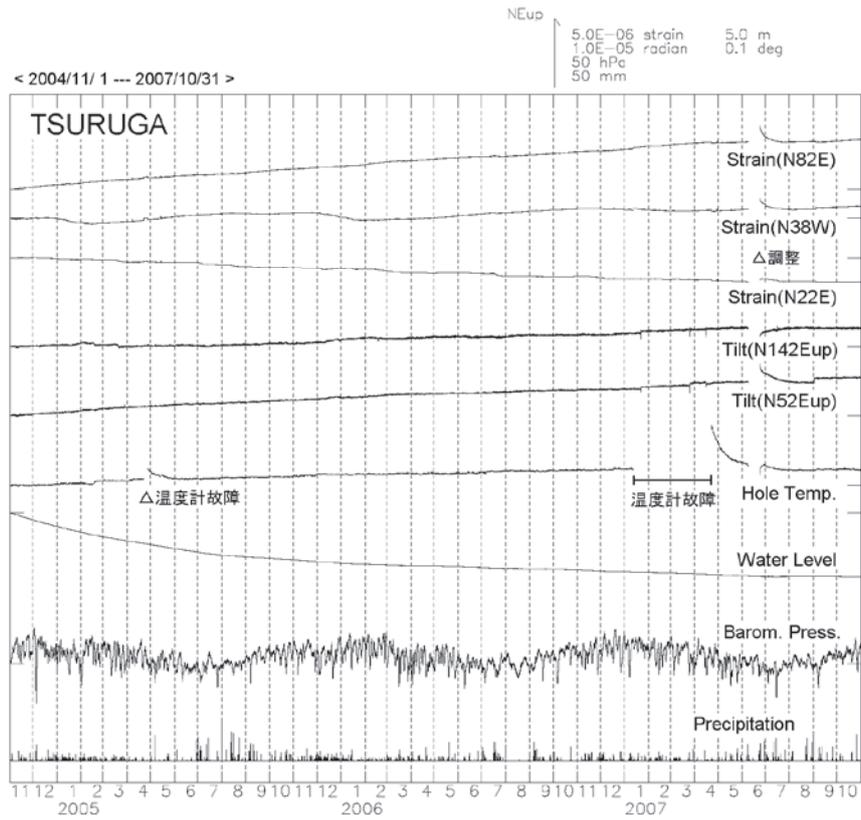
- 1) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 57 (1997), 554-558.
- 2) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 61 (1999), 428-432.
- 3) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 64 (2000), 351-354.
- 4) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 69 (2003), 445-447.
- 5) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 74 (2005), 394-396.



第1図 今津・敦賀観測点の位置
 Fig.1 Location map of crustal deformation observation stations (Imazu and Tsuruga).



第2図 今津観測点における(上)2004年11月～2007年10月、(下)2007年5月～10月の歪・傾斜変化(時間値). 2005年10月から12月中旬の欠測は電源・収録装置の故障のため.
 Fig.2 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Imazu from Nov. 2004 to Oct. 2007. (Lower) Changes of them from May to Oct. 2007. Data from Oct. to the middle of Dec. 2005 were lost by troubles of the power and the recording instruments.



第3図 敦賀観測点における(上)2004年11月～2007年10月,(下)2007年5月～10月の歪・傾斜変化(時間値). 2005年4月, 2007年1月, 4月の歪変化は温度計故障のため. 2007年6月の欠測は電源装置故障による. 2007年9月上旬(★印)の変化はセンサーのごく近傍の局所的な変化.

Fig. 3 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Tsuruga from Nov. 2004 to Oct. 2007. (Lower) Changes of them from May to Oct. 2007. Step-like strain changes of Apr. 2005, Jan. 2007 and Apr. 2007 were caused by troubles of the thermometer. Data lost in June 2007 is based on the trouble of the electric power equipment. Strain change in early Sep. 2007 (★) is the local change of the vicinity of the sensor.